



学校教育目標 「自ら行動、達成して感動」

校訓 「自主・自律・連帯・創造」 R4. 6. 27発行 文責 校長 松崎大樹



令和4年度「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

6/27(月)～7/1(金) がいよいよスタートしました!



「今ここにしかない私の命、あなたの命」についてしっかり考えていきましょう。

「今ここにしかない私の命、あなたの命」そのみなさん一人一人のかけがえのない「命」について、しっかりと向き合い、考えを深めてもらうための「令和4年度 長崎っ子の心を見つめる教育週間」が6月27日(月)～7月1日(金)までの日程で始まりました。

そこで、まずはじめに、みなさんには、どうしてこの「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が始まり、今もなお受け継がれ、引き続き開催されているのかを、説明させていただきたいと思います。

本当に重く、辛い事件でしたが、しっかり受け止めてもらいたいと思います。

実は長崎県では、みなさんと同世代の少年・少女によるとても残念で、悲しい事件がこれまで3つ起こっています。

1つ目は、2003年7月1日、長崎市内の大型電器店で、中学1年の男子生徒が当時4歳の児童を連れ去り殺害した事件。

2つ目は、それから1年後の2004年6月1日、佐世保市内のある小学校で起きた6年生の女子児童による同級生女子児童殺害事件。

そして、3つ目は、2014年7月26日に佐世保市で起きた高校1年生の女子生徒による佐世保女子高生殺害事件です。

この3つの事件は、全国に衝撃的なニュースとして伝わると共に、特にみなさんと同世代の少年・少女が起こした事件だっただけに、長崎県民は、そして県内の全ての学校の先生方、児童、生徒一人一人が、本当に悩み、必死に考えました。

そして、二度と同じような事件により少年・少女の尊い命が傷つけられ、奪われることがあってはならないという思い、また二度とこのような事件を長崎の少年・少女たちに起こさせてはならないという決意の中で、これまで守られ、継続して開催されてきたのが、この「長崎っ子の心を見つめる教育週間」なのです。

だからこそ、この「長崎っ子の心を見つめる教育週間」では、みなさん一人一人に、「今ここにしかない私の命、あなたの命」について、しっかりと向き合い、考えを深めてもらいたいと思っています。またそのことが、「今ここにしかない私の命、あなたの命」の輝きにつながることを願っています・・・。

※「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の始まりに際して
・・・ 校長講話より



令和4年度「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の目的と期間中の取組について改めて紹介させていただきます!



○目的 「命を輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成を図る。」

・命を大切に作る心や思いやりの心の育成 ・憧れや将来の志の育成 ・挨拶やマナーの向上

○令和4年度重点目標(長崎県教育委員会より)

・学校と家庭や地域住民が連携して、児童生徒が命を輝かせて生きようとする心情を育むと共に、情報モラル教材「SNSノート・ながさき」を活用し、情報モラルについての理解を深める。



「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の取組

期日	時間	校時	場所	内容
6月27日(月)	8:15~8:30	朝の会	各教室	全校朝会(放送)
				「命に関する校長講話」
6月28日(火)	13:55~14:45	5校時	1年各教室	1年道徳公開授業
	15:00~	生徒下校後	1年各教室	1年学年・学級PTA
6月29日(水)	13:55~14:45	5校時	2年各教室	2年道徳公開授業
	15:00~	生徒下校後	理科室A・B	2年学年・学級PTA
6月30日(木)	11:40~12:30	4校時	各教室 リモート	ケータイ安全教室 講師 メディア安全指導員 内海博文様
	13:55~15:45	5・6校時	各教室 リモート	生徒総会

SNSに潜む危険性

～過剰な個人情報の公開～

子どもは友達と情報を共有したがる傾向があるため、SNS上で必要以上にプライバシーを公開してしまう可能性があります。その結果、ネットいじめの標的になったり、ネットを利用した犯罪者に目を付けられたり、プライバシーの侵害やなりすまし犯罪の被害に遭う危険性が高まっています。

そこで学校としては、「ケータイ安全教室」等の取組を継続的に行い、情報モラル教育の推進・徹底に関係機関と連携を深めながら努めてまいります。また、保護者の皆様におかれましても、携帯端末を買い与えた保護者の責任として、ご家庭での携帯端末の使用法やSNSに潜む危険性について等、ご指導いただければ幸いです。

子供たちを被害者・加害者のどちらの立場にもしないためにも、ご理解・ご協力のほどよろしく申し上げます。



しっかり満喫してきました「彦岐・ハウステンボスの旅」 3年生修学旅行「思い出のアルバム」



修学旅行出発の日、朝から大雨警報が発令されるなど、梅雨前線の活発な影響が大変危惧される中での2泊3日の修学旅行となりました。しかし、生徒達の日ごろの行いが良かったからなのか?! 不思議なことに生徒たちが活動する時には雨は降らず、時には初夏の日差しが降り注ぐ中で、全ての活動を円滑に成し遂げることができた彦岐・ハウステンボスの旅となりました。特に、私たちの修学旅行をより充実したものに作り上げるために尽力いただいた彦岐スタッフの方々の歓迎ぶり・サポート力は本当に素晴らしく、彦岐の大自然、おいしい料理、温かい人情味を思う存分堪能することができました。

この2泊3日の修学旅行の有意義な見聞、そして仲間との楽しい思い出を糧に、3年生の生徒達はさらに成長し、この郡中学校のリーダーとして大いに活躍してくれるものと信じています。修学旅行で見た生徒一人一人のパワーや輝き、そして、クラス、学年の団結力をこれからも大切に、これからも充実した学校生活を過ごしてください。また、第3学年の生徒のみなさんには、この2泊3日の行程が安心・安全なものになるようにとしっかりサポートしていただいた先生方、旅行スタッフ。そして、今回の楽しい修学旅行の代金・お小遣いを出していただいたご家族の方々に、改めて感謝できる生徒であってほしいと思っています。



エメラルド唐津で彦岐へ上陸です!



彦岐の入島式では、横断幕も用意され、熱烈な歓迎ぶりでした!



一支国博物館では、彦岐の歴史についてしっかり学びました。



雨も上がり、学年を2ブロックに分けての釣り大会が始まりました。



一クラス分の釣りの釣果です。唐揚げやお味噌汁にしてみました。



夜は6つの民宿に宿し、パーベークュ料理を楽しみました。



民宿の方から花火を提供してもらい、クラス全員での花火大会です!



彦岐に来たらやっぱり「猿岩」で記念撮影です! はいチーズ!



ウェットスーツとライフジャケットを身にまとい、バナナボートやビスケットボートにチャレンジです! 筒城浜のマリンスポーツは本当に最高でした!



彦岐とのお別れは、スタッフの方々と紙テープを用いた船でのお別れでした。



ホテル「フラッグス」では、参加者全員そろっての大広間の夕食でした。



旅の最終日はいよいよハウステンボスです。班員全員で記念撮影です。



雨も降らず、様々なアクティビティに思い切りチャレンジできました。



広いハウステンボスの園内は、やっぱり自転車が一番です!



3日間の楽しい思い出を胸に、みんな元気に帰校しました。おしまい。

6月30日(木)には、「令和4年度生徒総会」がいよいよ開催されます!

素敵な郡中学校を自らの手で創り上げようと、生徒会役員を中心に、生徒一人一人が真剣に取り組んでいます! 「チーム郡」の一員として、よりよい生活や人間関係を築く自主的、実践的な態度を身につける中で、これからの社会でしっかりと活躍できる大切なスキルをしっかり身につけてください!

NOVA~私たちの声を行動に~

私たち76代目生徒会スローガンNOVA~私たちの声を行動に~込められた意味は、NとOにはNew Our Storyという「生徒主体で学校づくりをしていこう!」という意味と、VとAにはVoice Actionという「声を行動に!」という意味を持たせ、生徒の声・意見に耳を傾けて、役員だけで学校をよりよくするのではなく、生徒全員でよくしていこうという思いが込められています。

さて、この「生徒総会」は、郡中学校の生徒の皆さんが学校生活を送るうえで、「こうして欲しい」や「新たに付け加えたいもの」、「改善すべきもの」を生徒全員で話し合い、自らの学校生活をより充実させるために開催されるのです。そのためには、生徒の皆さんの自治性、積極性が必要不可欠です。積極的に自分の意見を発表し、自分たちの手で意義ある生徒総会にし、より良い学校生活に作り上げていきましょう。

76代生徒会長 佐々木 惇

